

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第1回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		令和2年9月8日(火) 19時00分~20時50分				
開催場所		中央公民館大会議室				
出席者	委員	23人(別紙のとおり)				
	その他	3人(中央区長・中央区副区長兼区政策課長・中央区役所地域振興課長)				
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 委員自己紹介・役員選出 3 事務連絡 (1) まちづくり会議について 4 議 題 (1) 中央地区まちづくりを考える懇談会について (2) 中央地区まちづくり会議について (3) その他 5 開 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開 会

- ・令和元年度中央地区まちづくり会議会長の牛尾委員からあいさつ
- ・藤田中央区長あいさつ

2 委員自己紹介・役員選出

出席委員から自己紹介を行った後に、役員選出を行い、以下のとおり決定した。

役職名	氏名
会長	牛尾 良一
副会長	徳田 文夫
副会長	岡本 和茂

3 事務連絡

(1) まちづくり会議について

事務局から資料に基づき、まちづくり会議の概要と地域活性化事業交付金について説明した。また、牛尾会長からまちづくり会議の意見聴取を割愛した地域活性化事業交付金事業「中央地区新型コロナウイルス感染症拡大に備えた自治会における感染症対策等推進事業」について内容説明を行った。

主な意見・質疑

○地域活性化事業交付金の改正点について、令和元年度に2年以上継続している事業の経過措置期間は令和3年度末までとのことだが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を断念している場合、どのような扱いとなるのか。

経過措置期間については、今年度も含めた令和3年度末までの2年間という扱いであり、今年度の事業実施有無に影響されるものではない。ただ、中央区においては、4年目以降の継続事業も多く存在することから、この2年間の中で、令和4年度以降の対応も含めて検討を行っているところである。

○当該事業で購入した物品は具体的に誰に対して配分するのか。

○各自治会に対して配分するものである。

○購入した物品は誰がどのように管理をするのか。また、チラシについては8000枚と計上されているが誰に対して配るのか。加えて、使用目的が不明瞭なため伺いたい。

○物品は自治会に対して配るため、自治会において管理していただくのが基本的な考え方である。

チラシについては、中央地区の全自治会加入世帯に対して配布できる枚数を計上している。

○使用目的としては、地域活動の中核を担う自治会活動において、まずはしっかりと「新しい生活様式」を定着させるために、たとえば、各集会などの際に手洗いや消毒などを行うことを想定している。

○購入予定の物品については調達できる見通しは立っているのか。

現在、中央地区自治会連合会事務局において必要数が調達できるよう、ネット販売だけでなく、地域の店舗を回るなど様々な手段を講じて確保に向けて動いているところである。まだ確定ではないが、おそらく、当初予定している最低限の確保は出来る見込みでいる。

結果

事後報告された申請内容について確認された。ただし、物品調達後、その内訳をまちづくり会議に報告すべき旨が付け加えられた。

4 議 題

(1) 中央地区まちづくりを考える懇談会について

会長から、令和2年度中央地区まちづくりを考える懇談会の実施有無と実施する場合の懇談テーマについて委員から意見を募った。

主な意見・質疑

○富士見小学校の通学路の一つに矢部の歩道橋があるが、そこで最近、通勤に使用する人と通学児童との間でトラブルがある。このため、たとえば、歩道橋を通勤者と児童でそれぞれ時間帯を区切って使用できればよいのではないかと感じた。また、歩道橋自体も老朽化しており、風の強い日などは児童が転倒などの危険性が高まっており非常に危険である。この件については、学校を通じて市の道路整備課にも話をしている。

○特定の通勤者と児童とのトラブルについては、数年前から存在する課題として承知はしており、学校とPTAで連携して対応した経過もあるが、個人的な問題もあるため一向になくならない状況である。このため、この件に関してみれば、まちづくり会議の議題というよりも、今後も対応していく中で、児童に危害があるようであれば警察に相談するなどしか対策はないと思う。

○天候が悪い時などに児童が歩道橋を渡って、たとえば、児童の傘が風に飛ばされ他の人にぶつかってしまったりすれば、それこそ人命に関わる事態となるため、歩道橋以外を通るという選択肢も含めて検討しなければならないと思う。また、歩道橋が老朽化していることが事実であり、かつ耐用年数が経過している状況であれば、危機管理としてはまずいことであり、調査しなくてはならないものと思う。

児童の通学に関しては、たとえば上溝地区では児童の通学路であることを表示する

標識が結構あると認識しているが、富士見小学校の通学路にはそういったものは見当たらない。出来る対応として、児童が通学していることを示す標識のようなものを設置するのも解決策の一つではないかと考える。

○西門商店街の道路沿いに駐車帯があり、そこを車が出るところに「止まれ」の標識があるが、先日、警察との協議の中でこの標識を撤去したいという話があった。警察からは「そもそも駐車している車はそこから出る際には必ず止まるもの」であり、もはや標識が意味をなさなくなっているという話があったが、この話の背景としては、標識がすでに老朽化しており撤去したいという意図があった。これは単なる一例であるが、懇談するテーマを決める際には、たとえば今回の事例でいうと環境整備という枠の中で、その解決のためには国、県、市のいずれが絡むのかという視点の議論も必要だと感じた。また、懇談テーマの選定については、皆さんが日頃生活している中でのこうした気づきを課題として捉えて決めていければよいと思う。

○子どもの環境という視点でいうと、新型コロナウイルスの影響により、屋外遊びの機会が減り、同時に自宅でゲームなどをして過ごすことが多くなった。これに伴い、子どもに対しても過剰なストレス負荷が掛かっていると感じる。

結果

今年度のまちづくりを考える懇談会については、新型コロナウイルス感染症の影響が続いている状況の中でも市と懇談すべき喫緊の課題がある場合のみ、9月30日（水）までに任意でテーマシートを提出いただくこととなった。そして、次回10月14日（水）開催の第2回まちづくり会議において、提出されたテーマシートを確認の上、懇談会の実施有無を含めて検討することとなった。

（2）中央地区まちづくり会議について

会長から昨年度実施したプロジェクトチームにおける進捗状況や今年度の継続の可否について委員からの意見を募った

（自治会加入促進チーム）

○自治会加入促進については、中央地区の自治会加入率も年々減少傾向にあるため、今後も継続していききたい案件と考えている。

（公園問題チーム）

○公園チームは地区の街区公園を調査しまとめた資料を基に、地域情報紙等に公園情報を掲載するなど予定していたが、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により個別会議自体も中断している状況である。また、この自粛期間中に街区公園の利用者が多くなった気がしており、これに伴い密な状況になっていたり、公園内に自転車が乗り入れられたりするなど新たな課題も生じている。このため、今後はこうした時代に適

合した公園の在り方というものも考えなくてはならないと感じているため、今年度も継続して取り組みたいと考える。

(交通事故対策チーム)

交通事故対策チームでは、地区で過去数年の間に複数回事故が発生した箇所をピックアップして委員が実地調査をして、どこに危険があるかなど気づいた点をまとめた。今後は集めた情報をホンダ S A F E T Y マップに落とし込む予定である。また、依然として未実施の箇所があることや、さらに今後はマップを子どもたちなどに周知・啓発するなどの展開の仕方も検討しており、今後も議論の余地はあると考えている。

結果

次回のまちづくり会議にて、昨年度の3つのプロジェクトチームの継続性も含めて、今年度に取り組むテーマについて検討することとなった。

(3) その他

- ・事務局から資料に沿って、以前より予定していた市役所前さくら通り地区景観形成重点地区に係る住民説明会について今年度の実施は不可となったため、代わりに令和2年10月1日(木)～10月22日(木)までの期間で意見募集のみ行うこととなったことについて説明した。
- ・中央高齢者支援センターから「令和2年度版高齢者地域情報誌」が配布され、同情報紙についての説明がされた。

主な意見・質疑

- 10月1日(木)から39キャッシュバックキャンペーンが開始される。地域の方々におかれては、是非ともキャンペーンに参加し、地域にお金を落としていただきたい。
- 災害時に指定された避難所に入り切らなかった人のための補足的な避難所は確保されているのか。今後、こうした課題も踏まえた議論もしていきたい。

まず風水害時においては、これまで中央地区については避難場所の指定はなかったが、昨年台風被害を受けて、この度、正式に中央地区の風水害時避難場所として中央公民館を指定した。そして、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、全市的な話となるが、たとえば各学校に対しては、これまで災害時に使用してこなかった特別教室とか空き教室などを使用できるよう働きかけており、現在、各学校ごとに災害時に備えた避難できる施設の拡充を図っているところである。ただ、こうした対策を講じて、実際は使用できる施設が不足するという事態が生じる恐れがある。このため、現在、市としては地域住民に対して分散避難をお願いしている。もし、ご自身の自宅が浸水被害の心配がないようであれば、自宅に留まることも一つの避難である。皆様方におかれても、このコロナ禍の状

況なので分散避難ということも一つの選択肢として災害への備えをしていただきたい。

5 閉 会

以 上

第1回中央地区まちづくり会議(9月8日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一		中央地区自治会連合会	出席
2	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
3	徳田 文夫		中央地区社会福祉協議会	出席
4	根岸 泰子		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
5	八木 憲哉		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
6	大沼 眞作		中央地区老人クラブ連合会	出席
7	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
8	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
9	東使 敏二		中央地区防犯協会	出席
10	守屋 守		交通安全協会	出席
11	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
12	松本 勇作		中央小学校PTA	出席
13	梅林 巖		弥栄小学校PTA	欠席
14	佐藤 匠		富士見小学校PTA	出席
15	岡本 和茂		中央公民館	出席
16	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
17	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
18	秋葉 秀二		公募委員	出席
19	井上 久		公募委員	出席
20	倉澤 良明		公募委員	出席
21	小澤 隆宏		公募委員	出席
22	瀬川 晴三		公募委員	出席
23	高橋 征彦		公募委員	欠席
24	鳥海 千秋		公募委員	出席
25	中里 良治		公募委員	出席